

シリーズ
原発・いのち・みらい
その61

第47回定期総会記念講演

三氏迎え
原発を多角的に斬る

理事 打出 喜義（金沢市・婦人科）



左から菅谷昭さん、おしどりケンさん、おしどりマコさん、小出裕章さん

第47回定期総会記念講演として、3月14日（日）に3時間にわたり第18回原発・いのち・みらいシリーズ講演会を開催しました。お招きした講師は、夢を持って原子力の道に進んだが学生時代にその危険性や問題点に気づき警告を発し続けてこられた小出裕章さん、原発事故以降「知るこ」との重要性に気づき芸人としての活動の傍ら東京電力の会見に誰よりも多く参加し情報発信をしてこられたおしどりマコさん、夢を



小出裕章さん（元京都大学原子炉実験所助教）

2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖の地震と津波、これに伴う福島第一原子力発電所事故で無念の死を遂げられた御霊に哀悼の意を込め黙祷を捧げた後、三宅靖会長があいさつに続き、小出さんが「困難を極めるフ

数十年単位の収束は不可能

わたりその報告を行います。なお、当日は一都三県の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が継続していたこともあり、感染症対策として会場参加は1000人限定とし、初の試みとしてYouTubeLiveでの生配信も行いました。



おしどりマコさん（芸人、記者）

管制報道の裏側

現在入手可能なデータから判断するとメルトダウンした炉心回収は困難を極め、事故収束は国が予定する数十年単位の期限内では到底不可能であるとの見解を示されました。また、そもそも原子力発電には、それに必須であるウランの枯渇問題やそれを燃やしてできる極めて危険な核のゴミの処分方法の問題などもあることから、全ての原発の安全な廃炉が望ましく、まずは福島原発事故の喫緊の対応として「石棺」による封じ込めの必要性を説かれました。



菅谷昭さん（松本大学学長、元松本市長）

ついで、おしどりマコ・ケンさんからは「関心と監視は自分と世界と未来のため」と題した講演をしていただきました。まず、今年2月13日に発生した震度6強の福島沖地震に触れ、政府の対応を批判されました。菅総理は地震発生後早々に「原子力関係でも異常の報告はなく、全て正常」とアナウンスしましたが、その後、地震で敷地内

甲状腺検査の必要性

第一部の最後には、チェルノブイリ事故から30年後にベラルーシを再訪し、今なお存する放射線の影響を目の当たりにした菅谷さんが、ゴメリ州ベ



参加者は熱心に聞き入った

るまでの「あると言われる潜在的な」は「なくなる可能性がある」と指摘されたことから、菅谷さんは甲状腺超音波検査の必要性を強調され、加えて甲状腺がん以外にも何らかの健康障害が発生する可能性があるため、国による住民の健康管理体制の確立が必要であるとの言及がなされました。（第二部の報告は次号に掲載予定）

第36回保団連医療研究フォーラム
分科会・ポスターセッション演題募集

メインテーマ

生き生きと保険医が働くために
～コロナ禍を乗り越えて

日時 2021年9月19日（日）・20日（月・祝）
会場 岐阜県・長良川国際会議場
（1日目：全体会）
都ホテル 岐阜長良川
（1日目：レセプション、2日目：終日）

9月20日（月・祝）9:00～12:30

- 分科会（6テーマ、6会場）
- 第1分科会 在宅医療・介護
 - 第2分科会 内科診療の研究と工夫
 - 第3分科会 歯科診療の研究と工夫
 - 第4分科会 医科歯科連携した研究と日常診療の工夫
 - 第5分科会 災害、公害、環境、職業病
 - 第6分科会 医学史・医療運動史・医療と裁判

■ポスターセッション（15演題予定）

※詳細は同封の案内チラシをご覧ください。

●演題応募・参加申し込みは石川県保険医協会まで。電話 076(222)5373/FAX 076(231)5156